

発行：メゾン マルジェラ

The Factory at Night by Takehito Moriizumi
Published by Maison Margiela
Volume 1 MaisonMargiela/folders

The Maison Margiela Tokyo Manga

We invited local artist Takehito Moriizumi to create a manga inspired by our 2-8-13 Maison Margiela Tokyo store. In it, a group of electrical engineering researchers visit an abandoned electronics factory. They intend to investigate the strange signals recently detected there. Together, they witness a transformation that brings forth something utterly new without erasing the old.

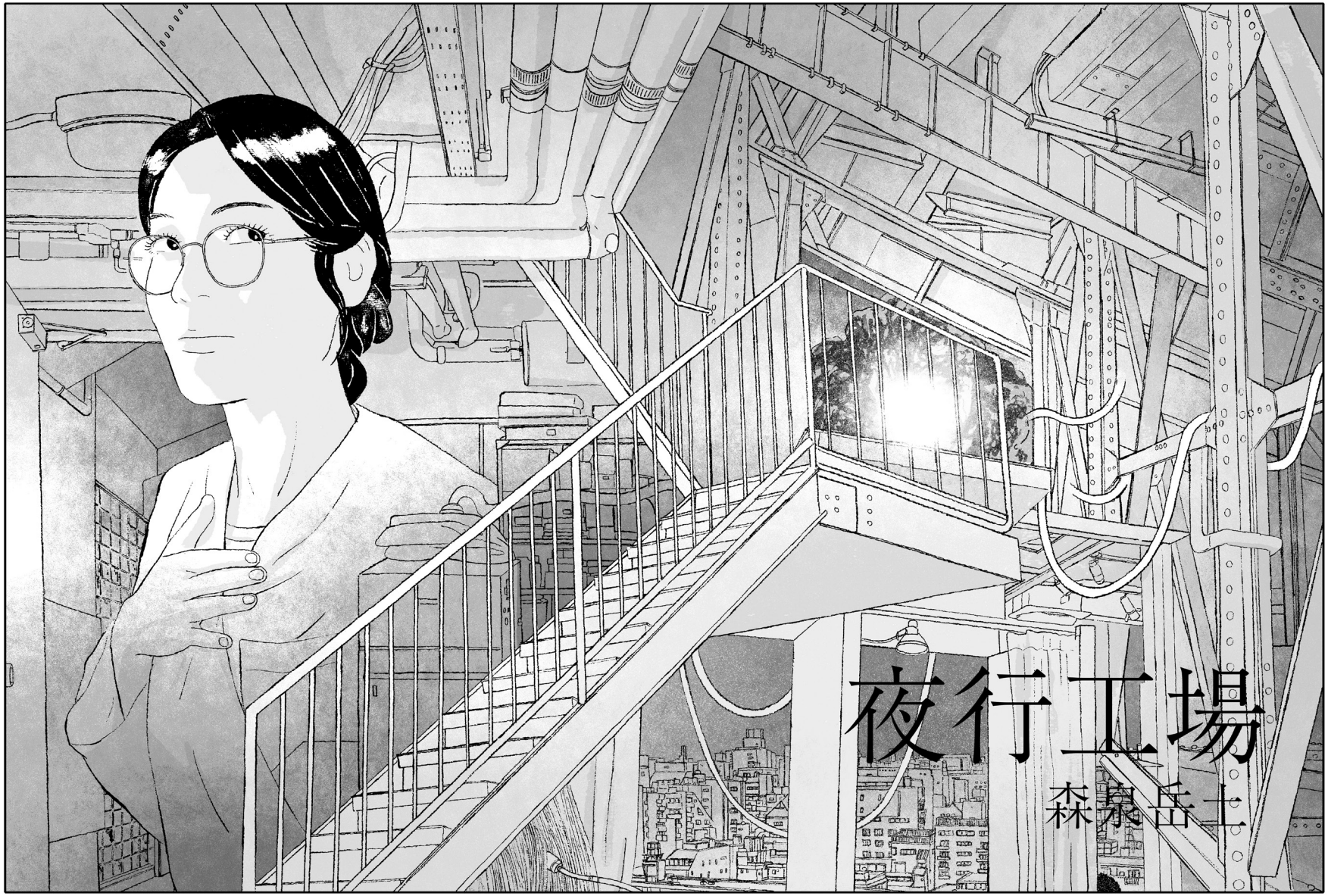
私たちは、東京を拠点に活動する漫画家・森泉岳土を迎え、メゾン マルジェラ トウキョウから着想を得た漫画を制作しました。物語の舞台は、使われなくなった電機制御機器製造工場。そこを訪れるのは、電気工学の研究者たちです。彼らの目的は、最近この場所で検知された奇妙な信号の正体を探ること。やがて彼らは、一つの変化を目にします。古いものを消し去ることなく、その記憶を残したまま、まったく新しい何かが生まれていく――過去と未来が交わる、その瞬間を。


存在
しない
信号？


それが
先輩の
親戚の
工場で？
そう
なぜか
検出される
らしくて


工場に歳の
近い男の子が
いてね
その
幼なじみから
昼間電話を
もらったんだ


今度
手狭になって
工場を移転する
ことになったそう
なんだけど
――


夜行工場
森泉岳土

二〇〇六年
恵比寿での
あの一夜は

その一本の
電話から
はじまった






いやいや
いい機会だよ
ずっとここに
来たかったし
彼らは
電気工学
ラボの
後輩たち
はじめ
まして
電機株式会社


あ
こちらの
ご婦人は
ご近所さん
ちょっと
立ち話を
してて——
あんた
覚えてるよ
小さいころ
ここで遊んでた
ろう？
それこそ
変わって
ないね
わたし
ですか？


すごい
二十年前の
ことですよ


昨日の
ことの
ようだよ


先に入ってて
もらって
いいですか？
荷物
重そうなんで
ご婦人を
送ってきます
了解

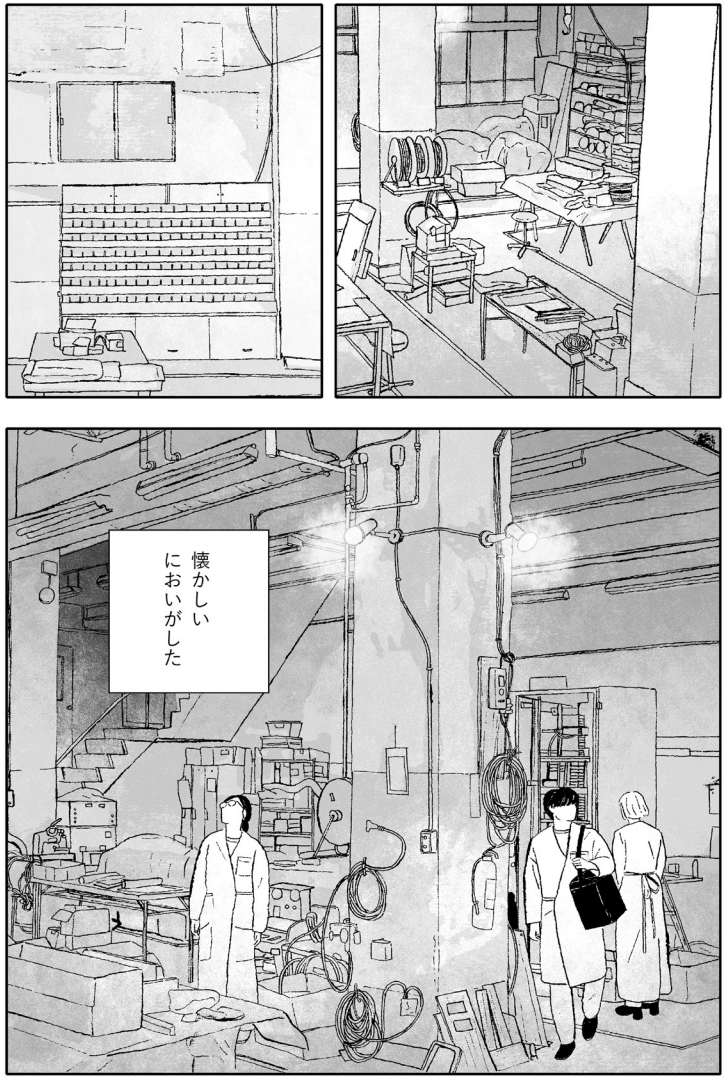

工場に足を
踏み入れた
瞬間——

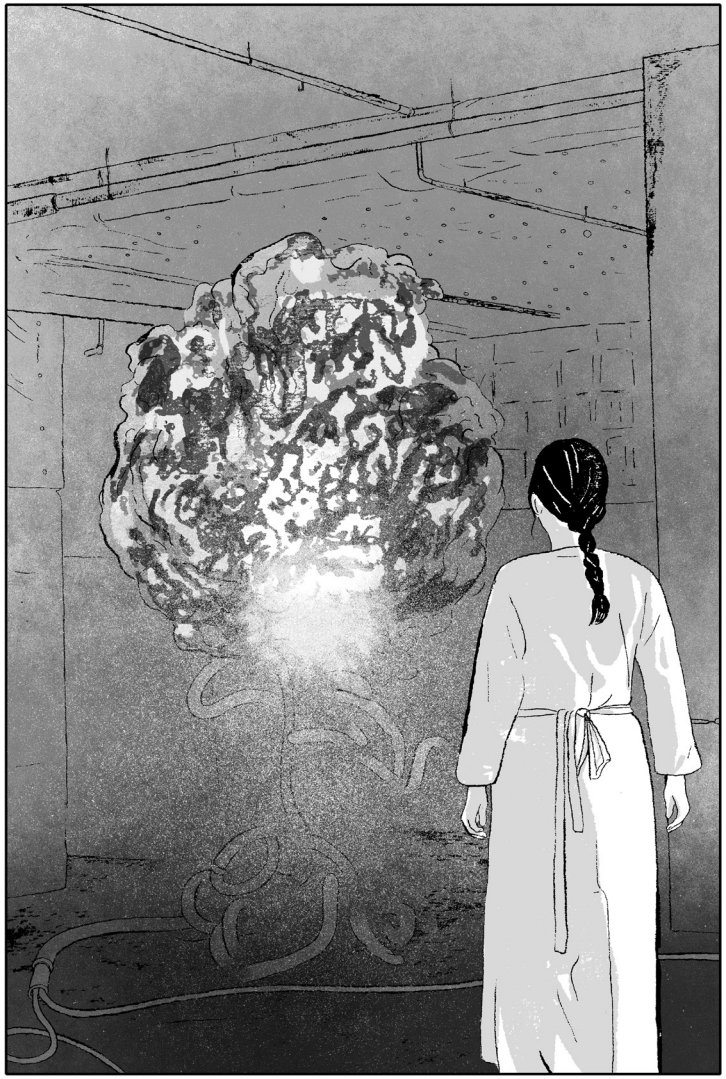

オシロスコープを――
セッティングしておきますね


わたしの原点だな


準備ができるまでのあいだ
わたしは工場を見てまわった


ここに来るのこれが最後かもしれ――

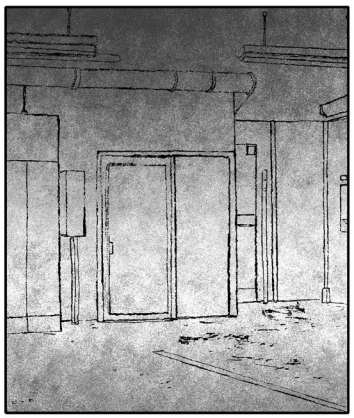

懐かしいにおいがした



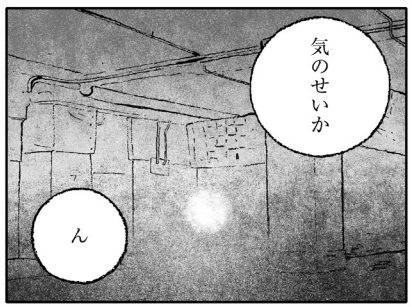




誰かいたような気がしたけど――



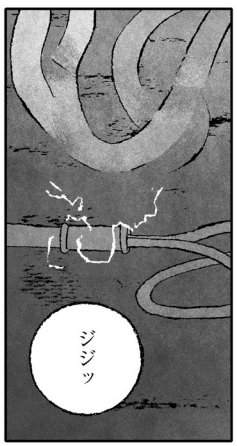





なんだろう
これ……
彫像？
オブジェ？

よく分から
ないけど
――


きれい


ジジッ




さっきの
幼なじみ
よく分かり
ましたね
二十年
ぶり
ですよ？


本質は
変わらない
ものなんだよ
そういったものは
見たら分かる
どんなに
成長しようが
変化しようがね


ふふ


なんでで
しょうね
あの子が
持っている
ものが変わら
ないからさ


人だけじゃない
ものだって
町だってそうだ
変化しつづけ
いてるけど
恵比寿は
恵比寿だろう？


あれ
先輩


そこに
階段なんて
ありました
っけ…？
階段？
なかったと
思うけど
——


見てください
さっきまで
なかったのに
通路が
——


……


どうして
あるんだ
……？

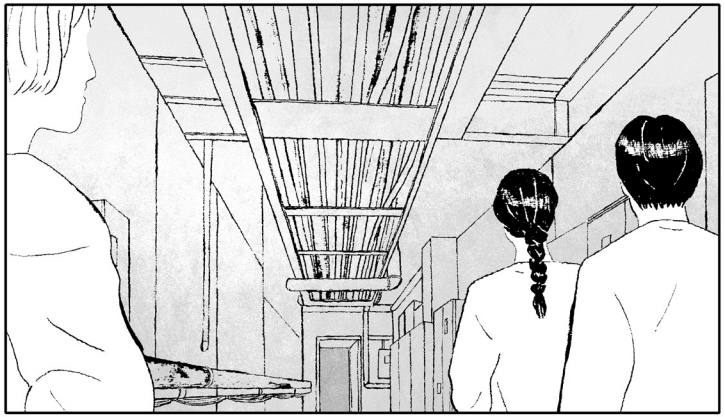

工場
引っ越すん
だって？

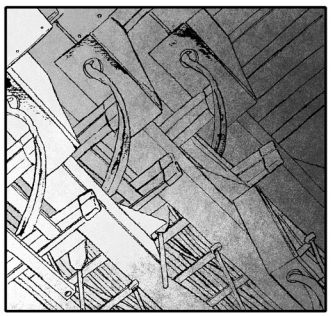

かたちを
変えても
本質は失われ
ないものなのさ


事務所は
残ります
けど

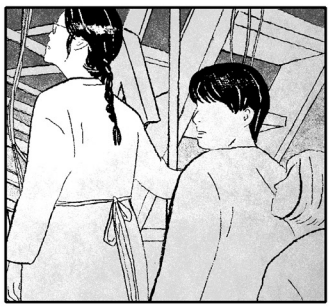

工場跡は
どうするん
だい？
さあ
父もなに
考えてるか
分からない
ですし


楽しみ
だね





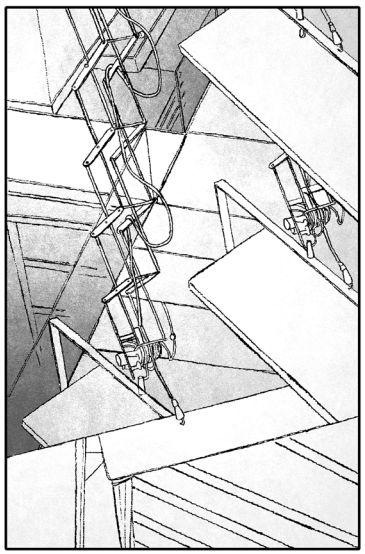

存在しない
通路が
出現している
工場が

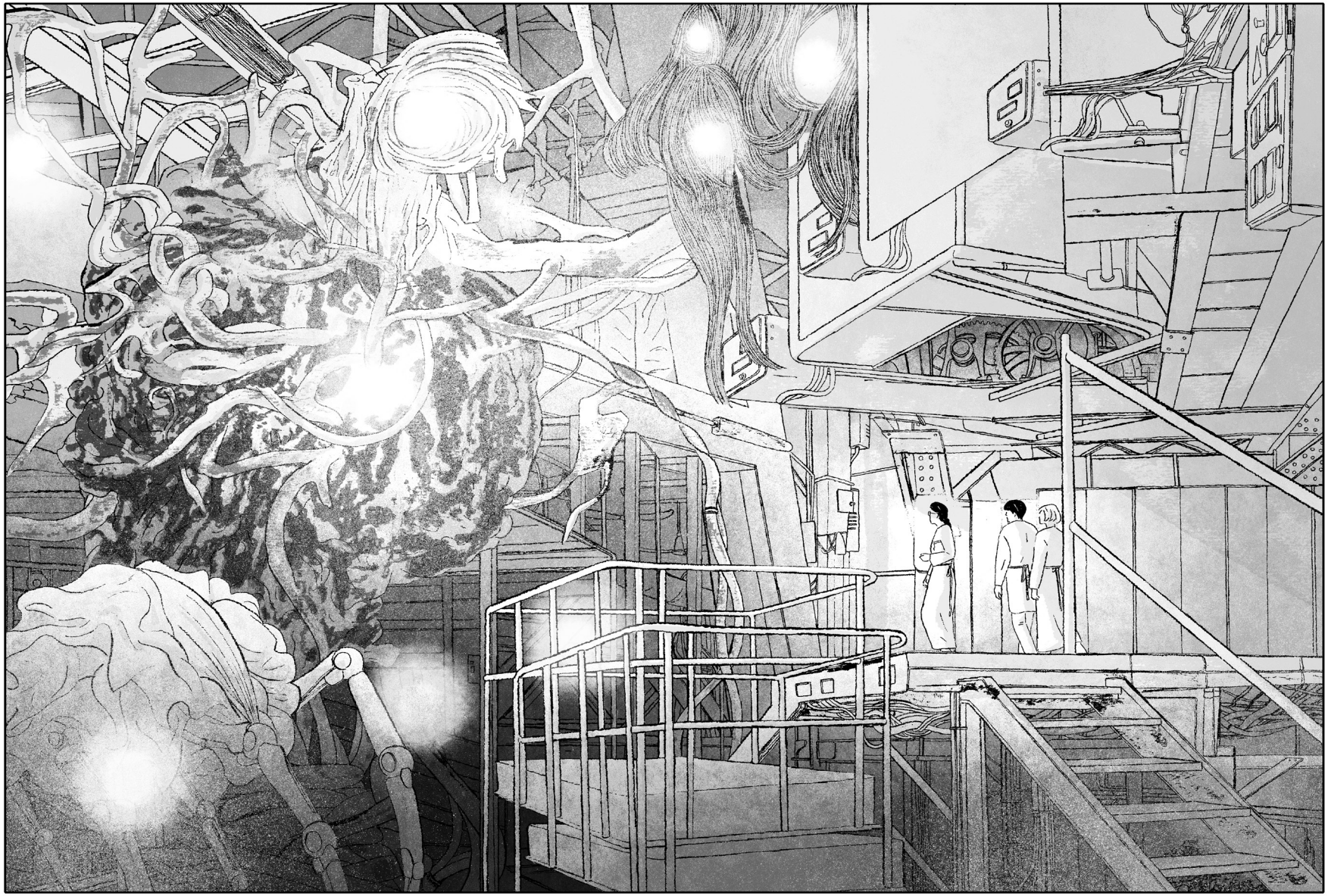


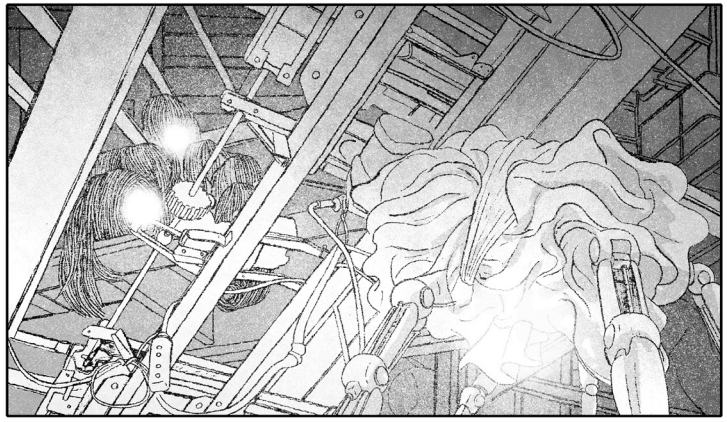

変形して
いく――







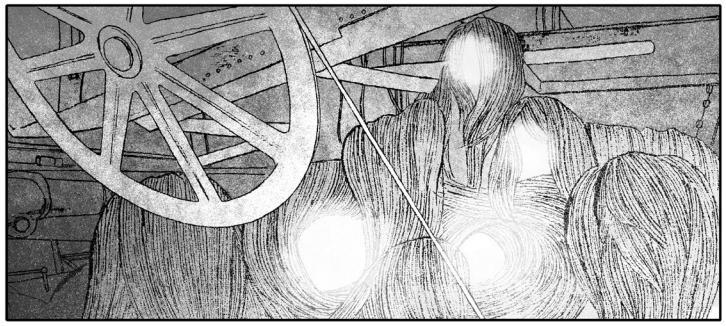





次々と目覚める
謎の彫像たちの
なかでわたしは

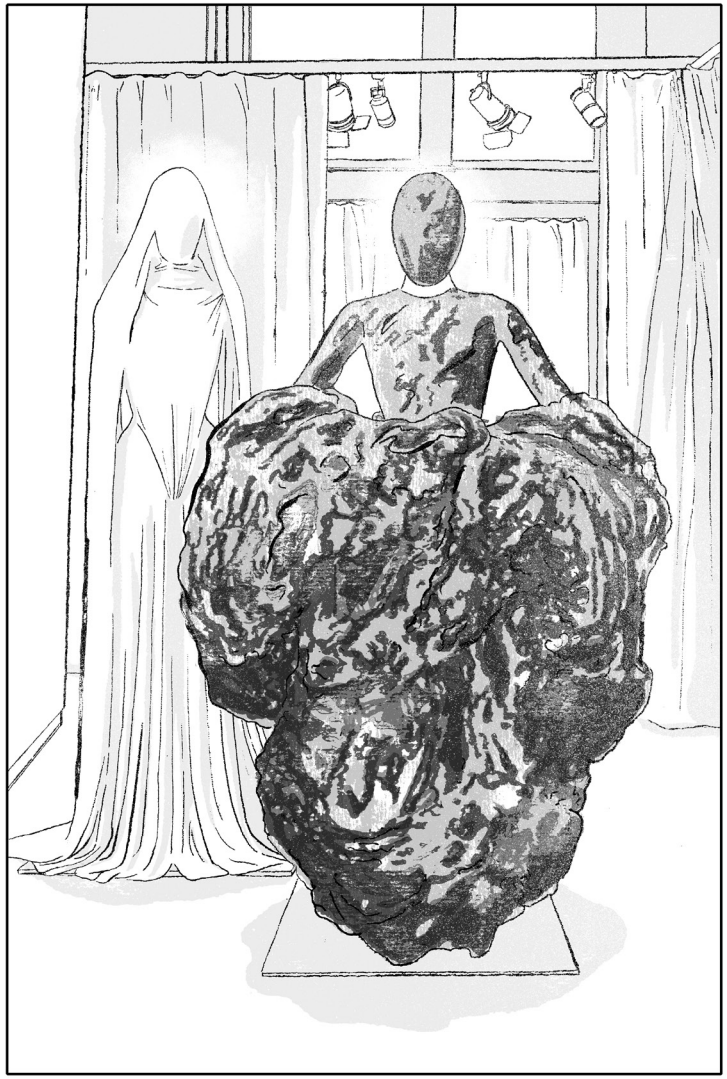

来るときに
のぼってきた
階段を
見つけた



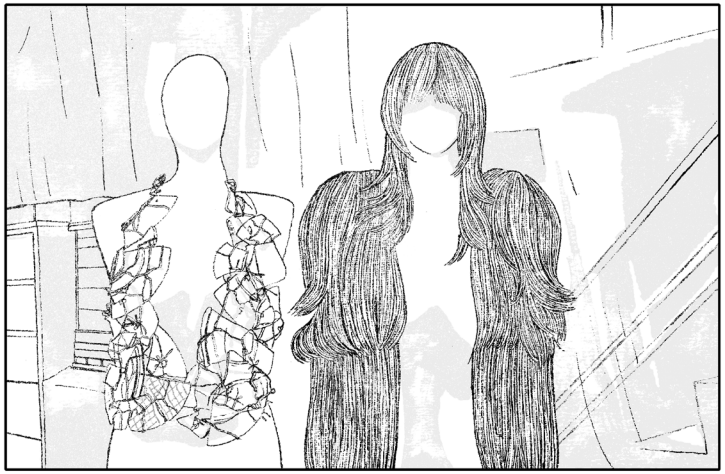



この町も
変わったと
思ってたけど
たしかにな
時間も時代も
越えていく
ものってあるん
だよな
生活と
文化と
労働と
夜の静けさと
――
……
あれ？
工場が
――
幼なじみが
戻った
ときには

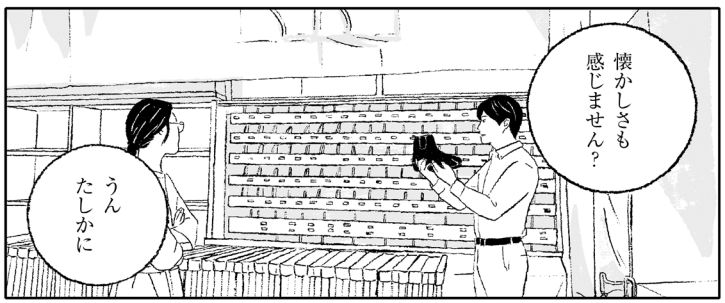

おかえり
あ……
これどういう
ことです？
あの
奇妙な彫像
たち――
あれは
何者？
きみの
お父さんが？
彫像
……？
いえ
知りません
けど……
変形は
すでに
終わっていた




なんか
変形させる
スイッチか何か
押しました？
工場を？
そんなスイッチ
あったの？
いえ
聞いたこと
ないですけど
……
ひょっとして
押したの
この人たち
だったりして
この人
たち？




なんだか
モダンになった
感じだね
とはいえ
昔の面影も
ありますよ


懐かしさも
感じません？
うん
たしかに


格好いいこと
言うじゃない

かたちを
変えても
本質は
失われない


でしょう？

